

2019年(令和元年)12月21日(土曜日)

室蘭・高砂小

英語で買い物できたよ

海星学院高生が特別授業

初の試み「必修化」見据え

室蘭・海星学院高校(高砂町、堺俊光校長)の1、2年生が小学生に英語を教える特別授業が18日、高砂小学校であった。高校生が「先生」となって英単語の正しい発音や日常会話などを教え、児童と楽しく英語に触れていた。

来年度から小学校で英語が必修化されるのを見据え、英語の楽しさを知ってもらおうと、従来は結び付きが少なかった小高が連携

した初の試み。高校生30人と、2〜4年生計100人超が参加した。

学年別に実施した授業では、英語を使ったゲームで体を動かした後、少人数のグループ別に買い物の場面でよく使うフレーズをレッスン。児童たちは学んだことを応用し、高校生によるファストフード店で模擬の買い物を楽しんだ。

児童たちは、店員役の高校生に英語で「チキンナゲ

ット一つください」などと伝え、模擬の紙幣を支払い、商品の写真が印刷されたカードを買い求めている。

「『Anything else』がほかに注文がありますか?という意味があることを知って勉強になりました」と話してくれたのは2年生の南川ほのかさん(8)。同じ2年生の菅菜羽君(7)は「ソフトクリームにオレンジジュース:た



高校生に教わりながら英語で疑似の買い物を楽しむ高砂小の児童たち

生は優しくて英語がもっと好きになりました」と笑顔だった。

高校2年の長谷川隼輝さん(17)は「いつもの学ぶ立場から一転、教える立場になり、伝える難しさに気付くなど自身を顧みるいい機会になりました」と話していた。(野村英史)